

5 月 22 日（土） 土曜活用講座開催

今月から 2 月にかけて全 10 回講座を開き、大学や企業から講師の方を招き、学びの場を広げていきたいと考えています。5 月 22 日（土）は新潟県信用保証協会 林拓也様、有限会社モノクローム新潟 原澤秀明様、新潟南商工振興会 菅原正憲様、鳥屋野潟漁業協力組合 増井勝弘様 大野彦栄様、新潟県立鳥屋野潟公園 浅野涼太様、新潟青陵大学社会福祉学科 山口恵子様、新潟青陵大学臨床心理学科 小林大介様、新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 野中辰也様 関久美子様 山川菜生様、新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 栄長敬子様の 13 名の方々にお越しいただき、参加生徒は 168 名（1 年生 78 名、2 年生 16 名、3 年生 26 名、4 年生 38 名、5 年生 10 名）でした。

次回は 6 月 5 日（土）に土曜活用にて特別講座を開講いたします。

【会場】 集会室／ 【時間】 9：30～11：00

【講座名】 1 「10代の時に読むべき本 vol.2」

【講師】 新潟県信用保証協会 林拓也 様

【活動概要】 紹介したい本をひたすら紹介します。本が好きな人はもちろん、そうでない人も知的な好奇心をかきたてられる内容です。

【活動の様子】



【参加者名簿】 26名

【生徒の感想】・たくさんのジャンルの本がわかった。・勉強をわかりやすくまとめた本が面白そうだった。・面白いと思った本を読んで視野を広げたいと思った。・未来、将来に役立つ本を読みたいと思い参加した。勉強や教養など本から学べることがたくさんある。昔の話や有名な本を積極的に読みたい。・本を読み自分を成長させていきたい。・より本に興味を持つことができた。
・今まで読もうとしなかった本を読もうと思った。

【会場】 1年3組教室／ 【時間】 9:30～11:00

【講座名】 2「新潟の海はワクワクがいっぱい～新潟海岸の魅力発見～」

【講師】 有限会社モノクローム新潟 原澤秀明 様

【活動概要】 にいがた海岸の魅力と、その魅力維持や向上による持続可能な謝意を考えます。SDGSと海との関係を学び楽しい新潟にするためにできることを考えます。

【活動の様子】



【参加者名簿】 6名

【生徒の感想】・海洋投棄量の約7割が新潟県だと聞き驚いた。・新潟の砂丘や保安林の魅力を知ることができた。・新潟でしかできないことや、他の場所の実践例を生かしたりすることで、計画であるリゾート地化することがわかった。海の奥深さを感じることができた。・SDGSが海の豊かさだけと思っていたが、産業にも役立ち、住みやすい街づくりにもつながっていることがわかった。新潟の砂丘が一番大きいことに驚いた。・

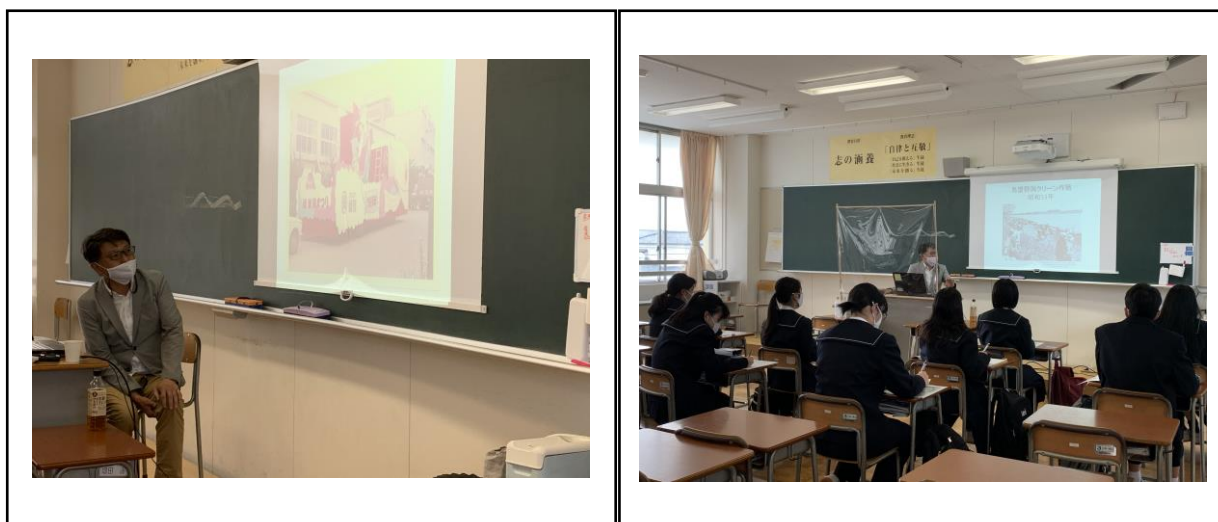
【会場】 1年2組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 3 「新潟駅南、鳥屋野潟の変化」

【講師】 新潟南商工振興会 菅原正憲 様

【活動概要】 中央区の真ん中に位置する「地図にない湖」と呼ばれた鳥屋野潟は、都市との共存が求められています。都市化が進むことで私たちが出来ることは何かを一緒に考えました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 11名

【生徒の感想】 鳥屋野潟に興味があり参加した。鳥屋野潟が昔は遊びに行く場所だと聞き驚いた。みんなが協力してゴミ拾いをする地域になってほしいと思った。今、新潟市に水害が少ないのは鳥屋野潟のおかげだと初めて知りました。昔の人の経験と努力によって今の新潟市があると知り感動した。私たちの暮らしは潟に守られていることを改めて実感した。歴史のある潟を大切に未来につなげていきたい。・SDGS推進委員として、もっと鳥屋野潟について知りたいと思い参加した。・鳥屋野潟の近くで育った。高志生が鳥屋野潟について知らないことに驚いた。・鳥屋野潟が新潟市の水をコントロールして水害が起きないようにしていることが凄いと思った。・鳥屋野潟が洪水になることは知っていたが、水位を調整してこの地域を守っていることを知り驚くと同時に腑に落ちた。漠然としていた鳥屋野潟のイメージが明確になった。・鳥屋野潟は知れば知るほど素敵な場所だなと感じた。これからも鳥屋野潟を学び続け、魅力を発信できる立場になりたい。

【会場】 1年1組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 4「船上から見た鳥屋野潟の現状について(環境、ごみ、魚)」

【講師】 鳥屋野漁業協同組合 増井勝弘 様、大野彦栄 様

【活動概要】 鳥屋野潟の暮らしや漁業など自らの体験をもとに、潟の水質や魚、環境の変化、潟に流れ着く様々なゴミの問題について、潟舟マイスターが熱く語りました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 9名

【生徒の感想】 60年前はコイやフナは貴重なタンパク源だったことを知った。鳥屋野潟にいるコイやフナやクサガメを見てみたいと思った。昔は自給自足をしていたことを知った。鳥屋野潟は昔汚れた時期があったが全国でいちばん最初に水をきれいにする活動を始めたことを知った。・毎年4トンのゴミが鳥屋野潟から上がっている。理科部で研究した水質よりひどいことがわかった。たくさんの生物がいる鳥屋野潟を保護したいと思った。・「ゴミから見た潟」と「潟から見たゴミ」は違う。鳥屋野潟の現状がわかった。私自身も何か環境を改善するための取り組みに参加したりもっと体験したりして知りたいと思ったので「潟マルシェ」に参加して「鳥屋野潟」に近づくための協力をしたい。・以前2回ほど板舟に乗ったことがあったが、船のそばでコイが跳ねて驚いた思い出がある。汚すのは簡単だがきれいな状態に戻すのは大変だ。学校でも一日使って全生徒でゴミ拾いをすればいいのと思った。・鳥屋野潟が抱えている問題の原因や歴史を背景に知ることができた。どんな植物や魚いるか知らなかったが、とても貴重な動植物がいることがわかった。実際に自分の目で見てみたい。鳥屋野潟を SNS で発信していきたい。・映像や写真がありわかりやすかった。鳥屋野潟に愛着がわきました。これからは、鳥屋野潟のイベントにも参加してみたい。・今度は舟に乗るのを楽しみにになった。

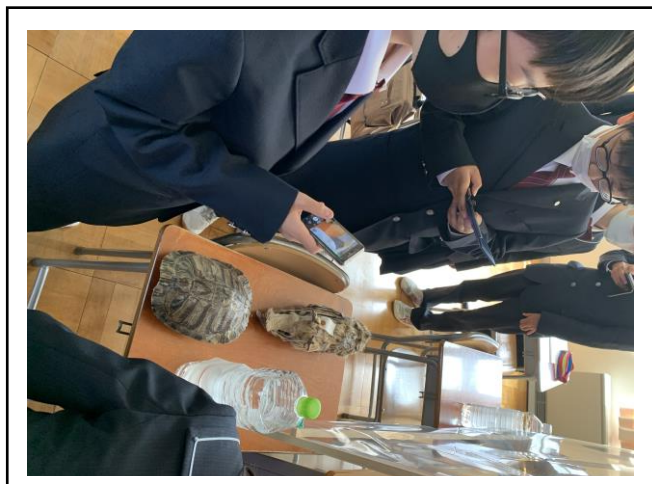
【会場】 2年6組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 5「鳥屋野潟と公園と生き物」

【講師】 新潟県立鳥屋野潟公園 浅野涼太 様

【活動概要】 鳥屋野潟は湿地であり約3000年~1000年前にはその原型ができていたと考えられます。そんな鳥屋野潟には多種多様な動物が生息しています。講座では、研究者でもある講師が新種の発見にまつわるお話等をしました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 10名

【生徒の感想】

・クモの好きなのでクモの話が面白かった。鳥屋野潟の生態系について自分も調べてみたい。・クモに対していいイメージはなかったが、今日の講座でクモがいないと環境が壊れてしまうと聞き良いイメージになった。・自分の知らなかったことが楽しく学べました。興味がわいたのでま会いたい。どうしてこの仕事に就いたのか聞きたいと思った。やりがいがあるのかも知りたい。・90分が30分を感じられるほど楽しい時間だった。また同じ講座を受けたい。・鳥屋野潟には多くの生き物がいて、そ全ての生き物が協力したりして生きていることがわかった。説明がわかりやすく、生き物がどのような生活をしているのかがわかって面白かった。・1年生のころから鳥屋野潟について様々なことを調べていましたが、鳥から小さな虫まで密接に関わっているとは知らなかった。普段何気に見ている鳥屋野潟に私が想像しているよりずっと大きく素晴らしく、ダイナミックで複雑な世界が広がっていることがわかった。景色だけでなく景色にも注目していきたい。

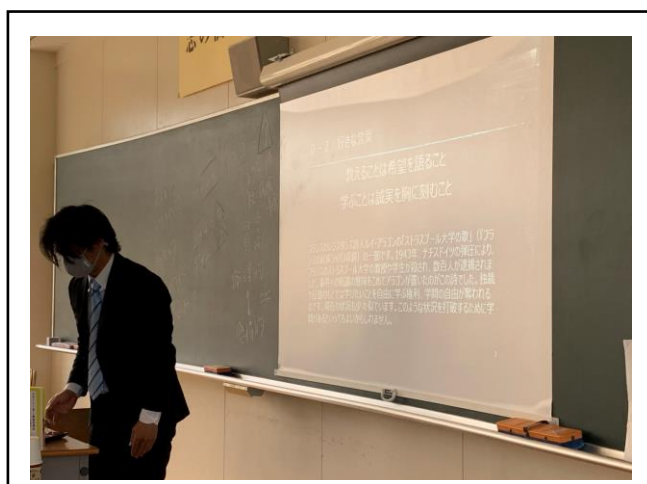
【会場】 2年2組教室 ／ 【時間】 9:30～11:00

【講座名】 6「なぜ社会福祉は必要なのか？」

【講師】 新潟青陵大学 海老田 大五郎 先生

【活動概要】「全ては個人の責任」という極端な個人主義的言説を仮想敵都市、なぜ社会福祉が必要なのかを、論理的にお伺いしました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 7名

【生徒の感想】・将来、福祉か医療の仕事に就きたいと思い講座を選んだ。少子高齢化・格差社会が進む中で障害者などがどのように幸せをつかむことができるのか、どのように平等になるかなどを論理的に考える必要があることがわかった。福祉について興味が深くなった。障害についてもっと知りたいと思った。・障害者という人をみんなとは違う人間と考えていて、今日の子の講座で“特定のできないことがある人のこと”ということが詳しくわかった。本だけ読んでも分からなかった実際に話を聞いて良かった。・倫理的に考えることや人々のイメージやその想像の対象など人の見方が分かった。考え方やその理由など、さまざまな所からの視点が分かって良かった。分かりやすい説明で深く理解することができた。

【会場】 2年1組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 7「絵本入門～絵本の絵を読む～」

【講師】 新潟青陵大学 山口 恵子 先生

【活動概要】 絵本は絵と文の相互作用によって物語が展開していきます。文だけでなく絵も語り掛けています。それがどういうことなのか、実際の絵本を読み解きながら解説していただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 7名

【生徒の感想】・絵本の絵、1枚1枚をよく見てみると登場人物の気持ちが伝わってきた。絵本は、人の想像力をより豊かにしてくれる役割があることが分かった。今回のじゅぎょうで絵本を読みたいと思った。・字がない絵本があることを知った。絵本は文字やイラストレーションによって様々な情報を表現する媒体であることを知った。絵から音が出ていることを感じることができ、また違った絵の見方ができるようになった。・絵本には私が思っていた以上の情報があった。絵本をしっかりと見ると読み取ることができた。・絵本を読むことが更に好きになった。絵をもっと深くまで読む方法がわかった。今度は絵を細かいところまで読もうと思った。

【会場】 視聴覚室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 8「暴力と戦うための心理学」

【講師】 新潟青陵大学 小林 大介 先生

【活動概要】 暴力には、言葉の暴力、相手の束縛、インターネットの誹謗中傷、身近に潜む暴力もたくさん存在します。人に暴力をふるわないための知識、暴力を振るわれたときに身を守るための知識を心理学の研究や実践を交えて紹介していただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 23名

【生徒の感想】・人間関係や人の感情の詳しいことがわかった。心理学により今日を持った。暴力の観点以外でも心理について知りたいと思った。・暴力は誰でも加害者、被害者になりえるので、まず時分を大切にし、被害を受けたらすぐに誰かに相談することが大切だということが分かった。難しい内容を分かりやすく詳しく説明していただけたので理解することができた。・人は不安だったり相手にイラついているときに暴力が起こる。暴力は相手が苦痛と感じたら暴力だということがわかった。日頃の睡眠は大事である。今日勉強したことを日々の生活に生かしていきたい。

【会場】 大会議室 ／ 【時間】 9：30～11：00

【講座名】 9「洋楽で学ぶ英語」

【講師】 新潟青陵大学短期大学部 野中 辰也 先生

【活動概要】 洋楽を素材として、リスニング・リーディングを主とした活動を通して、英語の聞く・読む力を向上させます。英語聞き取りのコツや洋楽を使って英語力を伸ばすヒントを学びました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 37名

【生徒の感想】

70年代の洋楽はあまり興味がなかったが、今日話を聞いてたくさんの魅力があることを知った。

洋楽の聞き取りポイントがわかった。

自分は聞き取ることはできるが、文法が苦手とわかったので、文法力を伸ばしたい。そのために、洋楽を聴いたり英語の本や映画などを観たりしたい。

【会場】 3年11組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 10「ヒューマンライブラリー：多文化共生社会を目指して」

【講師】 新潟青陵大学短期大学部 関 久美子 先生

【活動概要】 ヒューマンライブラリーとは、社会的に誤解や偏見を持たれがちな人が「本」になり、その「本」との対話を通して固定観念や偏見に気づき、多様性への感受性を高める取り組みです。なぜ人は偏見を持つのか、また自分はどのようなステレオタイプを持っているのか考えました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 12名

【生徒の感想】

差別行動をなくすために、お互いを知るヒューマンライブラリーがあり、他人を外見で判断せず、中身も知ってから人を判断しようと思った。

みんな「ステレオタイプ」や「偏見」を持っていて、それに気づくことで差別、態度や行動を防ぐことができると思えた。

【会場】 3年2組教室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 11「色をまとう～色彩文化入門～」

【講師】 新潟青陵大学短期大学部 山川 菜生 先生

【活動概要】 人々は古来より様々な色をまとうて暮らしてきました。時代や文化によって異なる。共通する色彩感覚や人々が色に込めてきた意味を服飾、化粧など「色をまとう」という観点から学びました。また演出・表現ツールとしての色の効果や流行色についても解説していただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 13名

【生徒の感想】

色には、イメージだけでなく、歴史や効果など沢山の意味があることが分かった。

色が気持ちに影響することは何となく知っていたが、機能性にも影響があることを知り、驚いた。

【会場】 音楽室 / 【時間】 9:30~11:00

【講座名】 12「子どもと楽しむための音楽リズム遊び」

【講師】 新潟青陵大学短期大学部 栄長 敬子 先生

【活動概要】 子どもは音楽が大好きです。リズムに合わせ、一緒にすることにワクワクします。その共感する体験が自分を表現すること、伝えること、生きる力につながります。まずはその楽しさを自分で体感してみました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 7名

【生徒の感想】

保育士は子どもたちがどのように楽しめるのか、演習を通して学ぶことができた。

手遊びや絵本の読み聞かせが楽しくて、小さい頃の楽しんでいた気持ちを思い出した。